

お 知 ら せ

公益社団法人 京都市観光協会
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報（2019 年 1 月）について

このたび、京都市観光協会データ月報（2019 年 1 月）をとりまとめましたのでお知らせします。

なお、今回調査分から、京都観光の市況を把握する調査としての拡充を図る観点から、新たに百貨店免税売上や観光案内所に関する数値を掲載し、併せて調査の名称を変更いたしました。また、分析手法についても、滞在型観光推進の観点から宿泊延べ人数をベースとするとともに、新規宿泊施設開業等による客室数の変化を反映したものに見直しました。

<調査の変更・拡充>

1 調査名称の変更

平成 26 年（2014 年 4 月）の調査開始以来、「外国人客宿泊状況調査」として発表してまいりましたが、今月発表分から「京都市観光協会データ月報」に名称を変更します。

2 掲載データの拡充①

京都市内 4 百貨店のご協力のもと、百貨店免税売上に関する数値を掲載します。

3 掲載データの拡充②

京都観光の情報発信拠点として JR 京都駅に設置する「京都観光総合案内所（京なび）」の利用者数を掲載します。

4 分析手法の改定

ホテル宿泊客数については、「構成比」や「伸率」を算出するにあたり、訪日外客数（日本政府観光局（JNTO）発表）等との比較の観点から、これまで「実人数」をベースとし、また、「伸率」では前年と本年との営業客室数の差異を調整したうえで分析してまいりました。

今後は、滞在型観光推進の観点から、また宿泊業界からの要望も踏まえ、「泊数」を分析に反映する「延べ人数」をベースとし、また、新規宿泊施設開業等により客室数が変化する昨今の状況に鑑み、客室数の差異を調整しない手法で算出した数値で分析いたします。※詳細は次ページ参照

なお、これまでの分析手法による数値（実人数／客室数差異調整あり）についても当分の間、併記することいたします。

5 対象ホテル数の増加

今回から、対象ホテルが 52 から 54 に増加しました。

分析手法の改定について

○これまでの分析値（当分の間、併記）

実人数ベース 一人が3泊しても「1」でカウント

客室数調整あり 前年と本年の販売可能客室数の差異を調整し、客室数が同一であったと仮定し算出

○今後の分析値

延べ人数ベース 一人が3泊したら「3」でカウント ※泊数を反映

客室数調整なし 前年と本年の販売可能客室数の差異を調整することなく算出

※宿泊客数増減の実感を反映

<客室数調整の考え方>

(例) 2018年1月 販売可能客室数 312,436 室…① 総宿泊延べ人数 394,629 人…③

2019年1月 販売可能客室数 349,349 室…② 総宿泊延べ人数 432,321 人…④

これまでの分析では、総宿泊延べ人数の伸率を算出する際に、①と②の客室数の差異がないもの（客室の増減がないもの）と仮定し、

$$\text{④の数値を } 432,321 \text{ 人} \times \frac{312,436 \text{ 室}\cdots\text{①}}{349,349 \text{ 室}\cdots\text{②}} (\text{約 } 0.89) = 386,641 \text{ 人}\cdots\text{⑤} \text{ に調整したうえで、}$$

⑤÷③で、伸率は前年同月比 2.0%減と表記してまいりました。

この手法では、実際の総宿泊延べ人数は増加（④÷③で前年同月比 9.6%増）しているにもかかわらず、販売可能室数増（②÷①で同 11.8%増）以上の伸びがなかったため、伸率がマイナス数値になります。



今後の分析では、①と②の客室数の差異を技術的に調整することなく、単純に④÷③で計算し、伸率を前年同月比 9.6%増と表記してまいります（販売可能客室数の伸率、同 11.8%増も併記）。

<京都 54 ホテル宿泊状況調査>

1 調査のあらまし

(1) 概要

外国人宿泊状況をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主なホテルの協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ人数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）

なお、本調査における外国人は、日本国籍以外のパスポートを有する人で、ビジネス、観光を問わない。

(2) 対象ホテル（2019 年 1 月現在）

・54 ホテル 11,637 室

※京都市内ホテルの客室数ベースで約 4 割をカバー（京都市観光協会調べ）

※前年と本年では対象ホテル数・客室数が異なるため、昨年発表の 2018 年 1 月数値（37 ホテル）と今回発表の 2018 年 1 月数値（54 ホテル）は異なる場合がある。なお、対象ホテルにおいては、調査対象月における前年と本年の数値提供を得ている。

※P8 の客室収益指数（RevPAR）等の数値は、ホテルデータサービス会社 STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記 54 ホテルとは対象が一部異なる。

(3) 分析数値

「客室稼働率」「外国人利用割合」は、「延べ部屋数」の集計による。

「伸率」は前年同月からの増減率を示す。

「構成比」「伸率」は、「延べ人数」の集計と「実人数」の集計との 2 つを併記する。

「構成比」は外国人客数における国・地域別割合を示す。

(4) その他

本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。

ただし、P8 の STR データについては、書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられております。報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：桑田）までお問合せください。

<京都観光総合調査との関連について>

京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設（旅館業法許可施設）を対象とする「京都観光総合調査」（京都市から年 1 回発表）が基本指標となる。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するため、京都市内の主なホテルを対象とするサンプル調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数（日本全体）との比較等も参考分析という位置づけとなる。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会 TEL：075-213-0070

国際誘客推進部 水上、桑田

企画推進部 堀江

2 調査結果のポイント

中国が伸長し、外国人利用割合は1月として初めて40%に到達

2019年1月、外国人客の利用割合は40.0%と13ヶ月連続で前年同月を上回り、調査開始以来1月として初めて4割に達した。

外国人客におけるシェアでは、中国が前年同月差7.7ポイント増加する36.6%に達した。この数値は、単月における単一市場が占める割合として、2018年2月の中国39.5%、2015年2月の台湾37.7%に次いで3番目に高いものである。今回、中国が大きく伸長した背景としては、前年の春節休暇が2月中旬(2/15-21)であったのに対し、本年は2月初旬(2/4-10)で、1月末から旅行需要が高まったことなどが要因にあると考えられる。

例年1月に伸びるオーストラリアが堅調に構成比3位を維持

市場別構成比において、1位の中国(36.6%)、2位の台湾(13.0%)に続き、3位には、調査開始以来、1月として6年連続でオーストラリア(9.6%)が入った。オーストラリアは、現地の夏季休暇やスキー目的等で例年1月に訪日需要が高まる特性があり、特に本年1月の訪日外客数は単月として過去最高を記録した。京都54ホテルにおいても延べ人数で前年同月比19.3%増加しており、シドニー・関空便の増便(2018年12月/カンタス航空週3便→週4便)などが需要を後押ししたと考えられる。

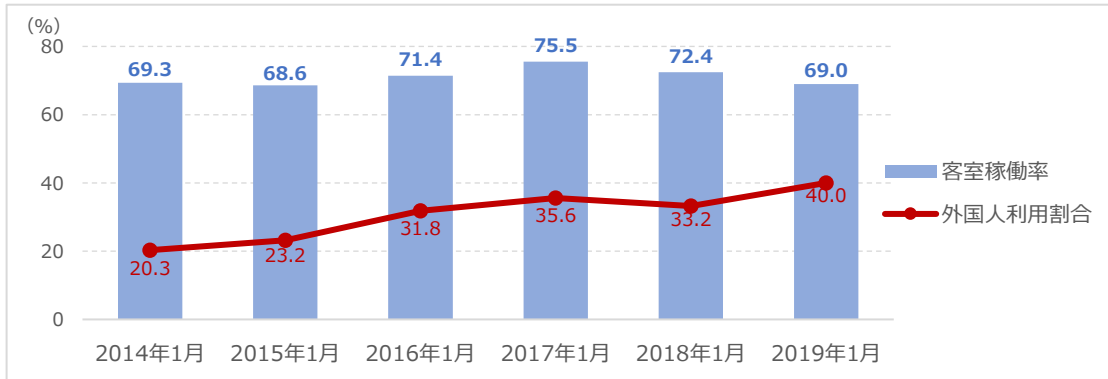
総宿泊延べ人数は1月として過去最高の伸率

日本人宿泊延べ人数は前年同月比2.4%減と微減したものの、外国人客の増加に伴い、総宿泊延べ人数は同9.6%増加し、記録開始以来1月として、最も大きな成長幅となった。また、客室稼働率については、1月は例年京都における最閑散月につき7割前後で推移している中、本年は69.0%であった。

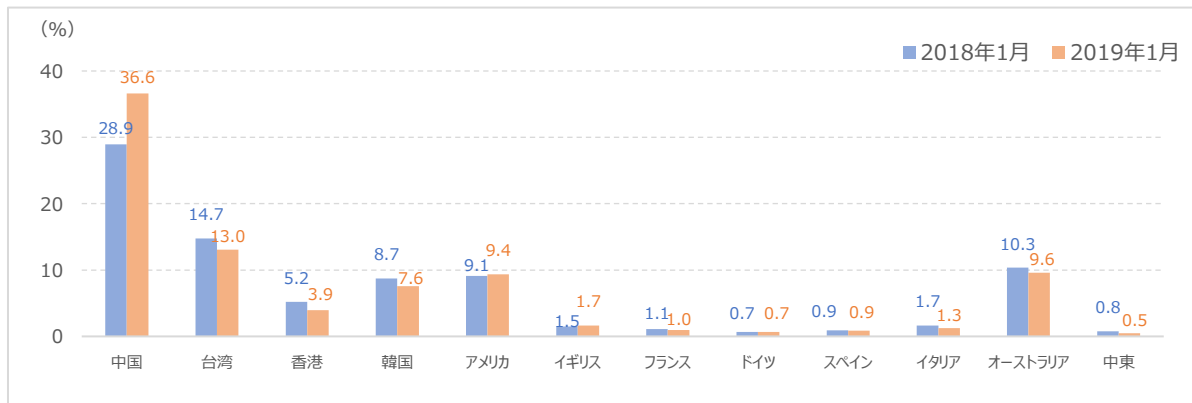
STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

京都 54 ホテル宿泊状況調査結果（2019年1月）

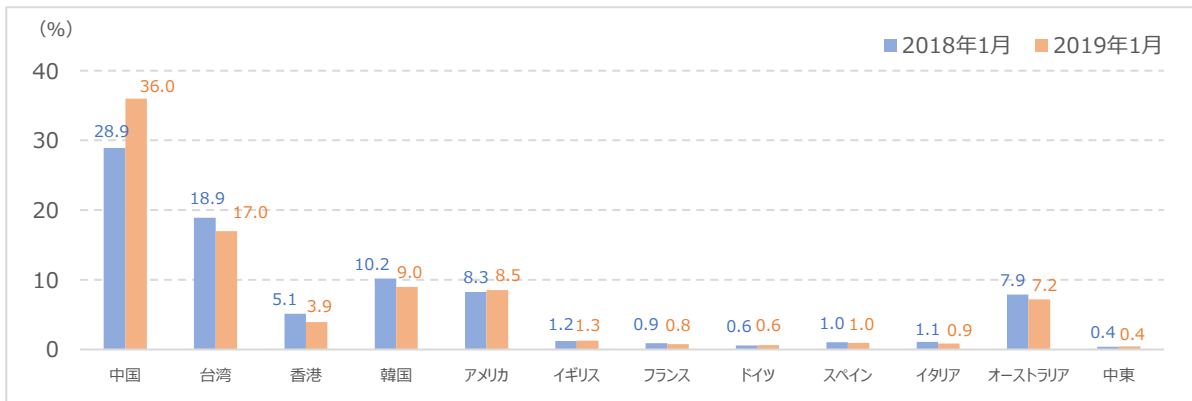
1 客室稼働率・外国人利用割合の推移



2 京都 54 ホテル・構成比（国・地域別）（延べ人数）

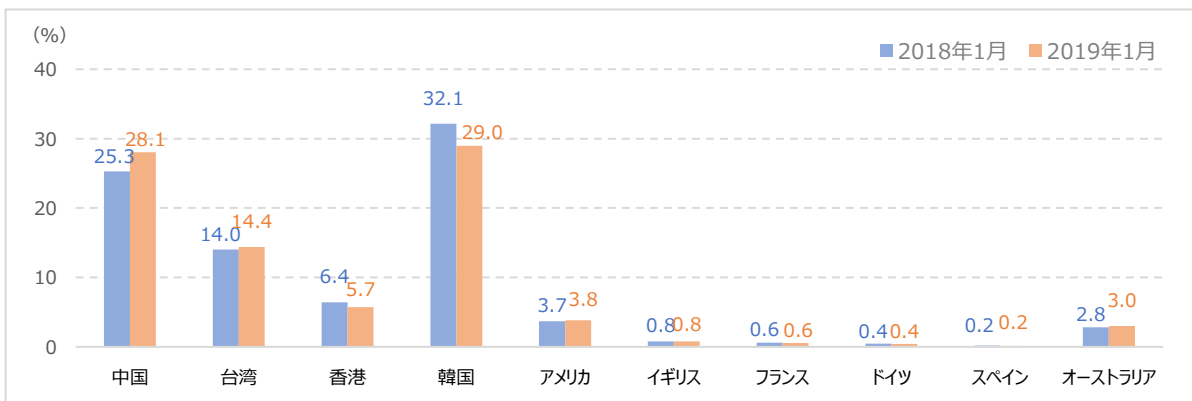


【参考】 京都 54 ホテル・構成比（国・地域別）（実人数） ※従来の分析手法

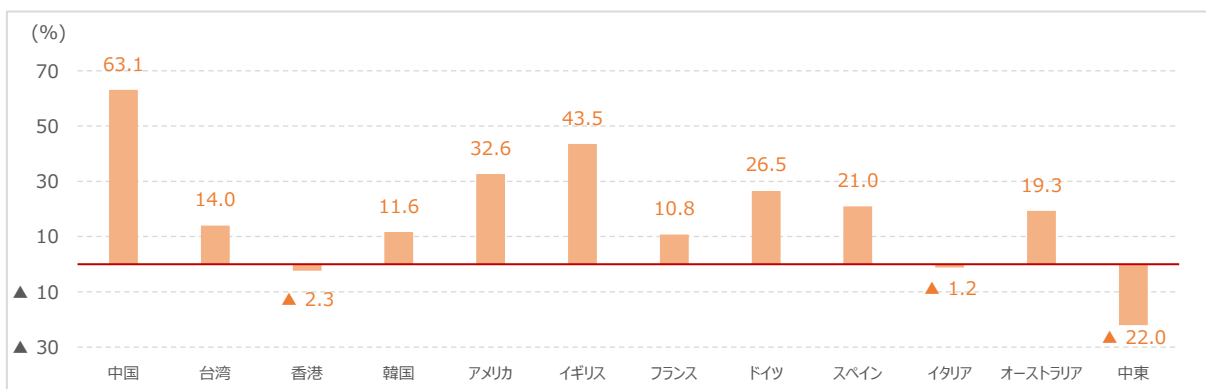


【参考】 訪日外客数・構成比（国・地域別）（実人数）

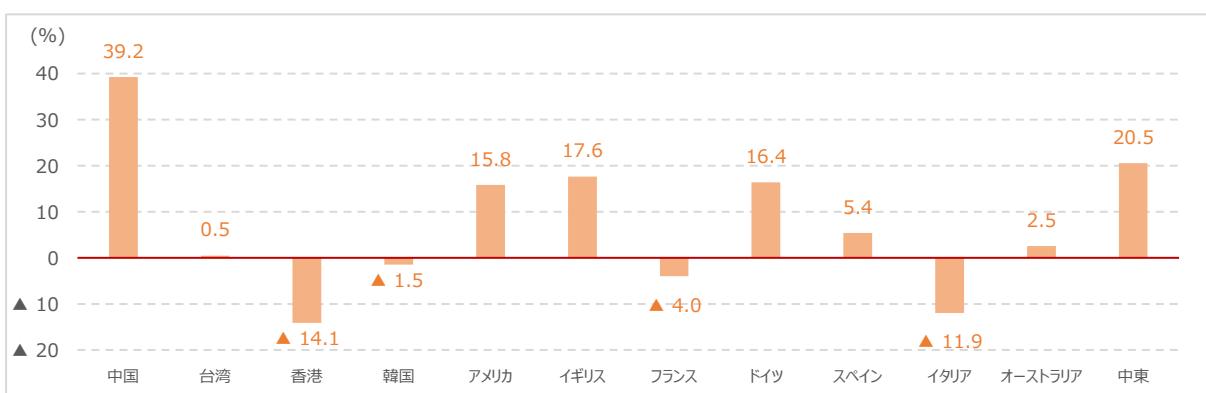
出典：日本政府観光局（JNTO）



3 京都 54 ホテル・伸率（国・地域別）（延べ人数） ※客室数差異調整なし

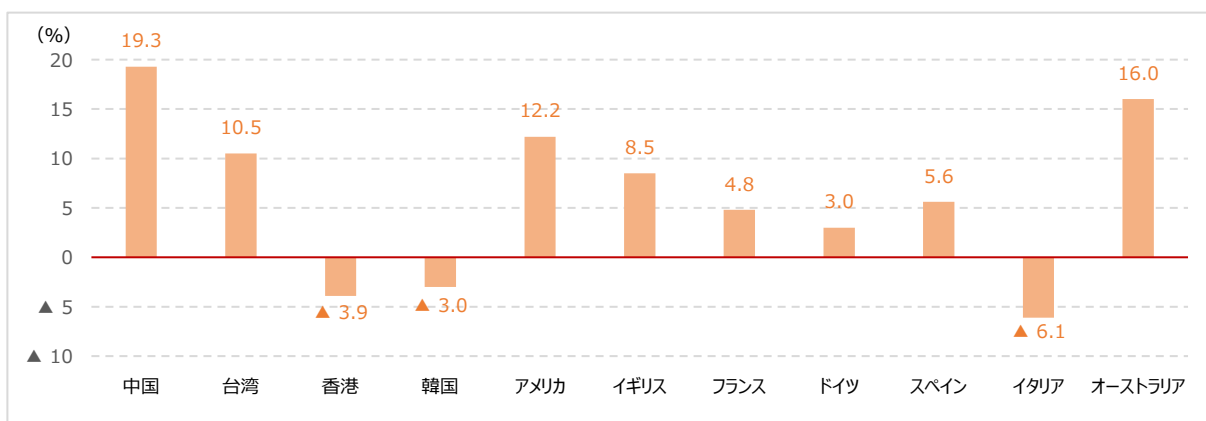


【参考】京都 54 ホテル・伸率（国・地域別）（実人数） ※客室数差異調整あり ※従来の分析手法



【参考】訪日外客数・伸率（国・地域別）（実人数）

出典：日本政府観光局（JNTO）



4 宿泊客数の伸率（延べ人数）

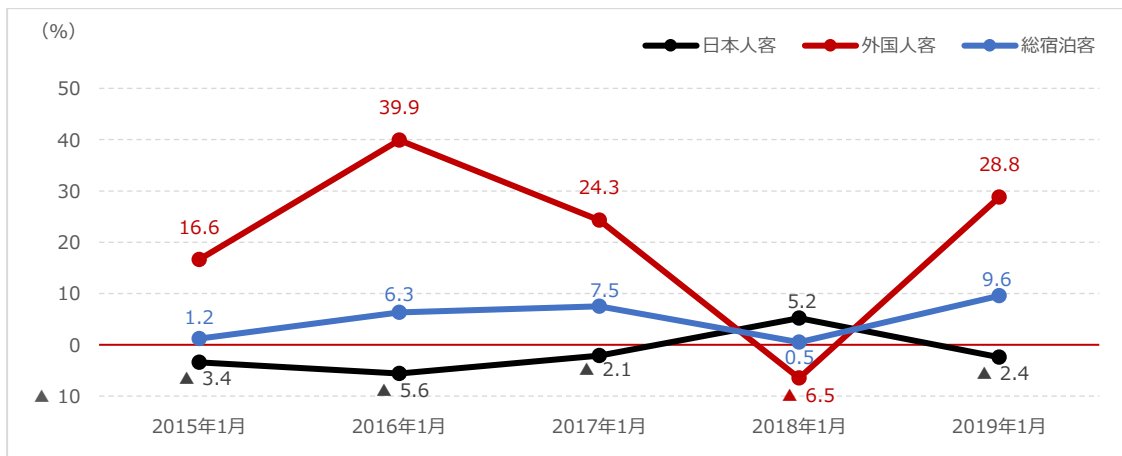
	2019年1月	2018年1月	伸率 (客室数差異調整なし)
日本人宿泊客数	237,008人	242,945人	▲2.4%
外国人宿泊客数	195,313人	151,684人	28.8%
総宿泊客数	432,321人	394,629人	9.6%
販売可能客室数	349,349室	312,436室	11.8%

【参考】宿泊客数の伸率（実人数）

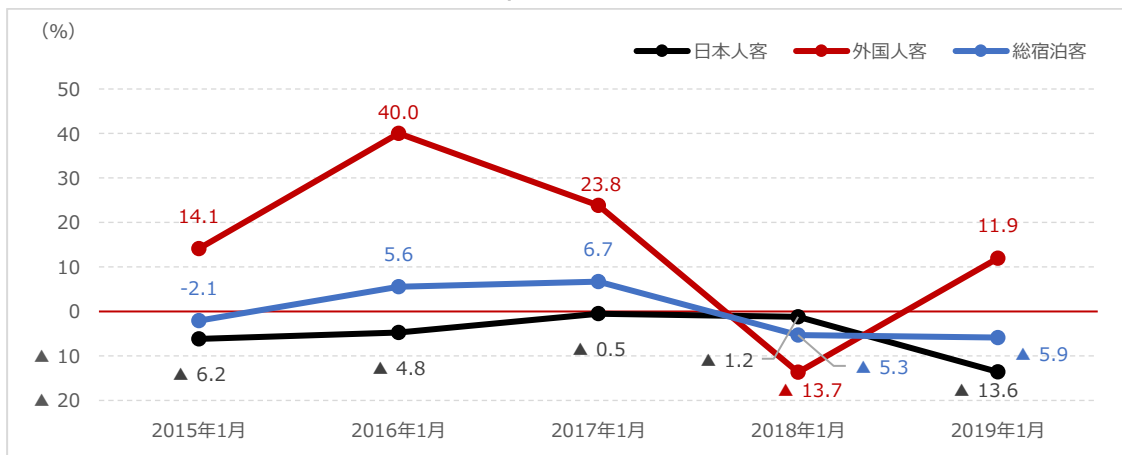
※従来の分析手法

	2019年1月	2018年1月	伸率 (客室数差異調整あり)
日本人宿泊客数	158,295人	163,825人	▲13.6%
外国人宿泊客数	88,944人	71,059人	11.9%
総宿泊客数	247,239人	234,885人	▲5.9%

5 宿泊客数伸率の推移（延べ人数） ※客室数差異調整なし



【参考】宿泊客数伸率の推移（実人数） ※客室数差異調整あり ※従来の分析手法



【参考 1】 客室収益指数等の他都市比較（出典：STR）

主要都市別 OCC・ADR・RevPAR （2019 年 1 月）

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

主要都市別 OCC・ADR・RevPAR 伸率（2019 年 1 月）／前年同月比

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

【用語解説】

OCC Occupancy Ratio の略で客室稼働率を示す。

ADR Average Daily Rate の略で平均客室単価を示す。

RevPAR REVENUE Per Available Rooms の略で客室収益指標を示す。販売可能客室数あたりの客室売上の数値で、客室稼働率（OCC）×平均客室単価（ADR）で算出される。

当データについては、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられております。報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：桑田）までお問合せください。

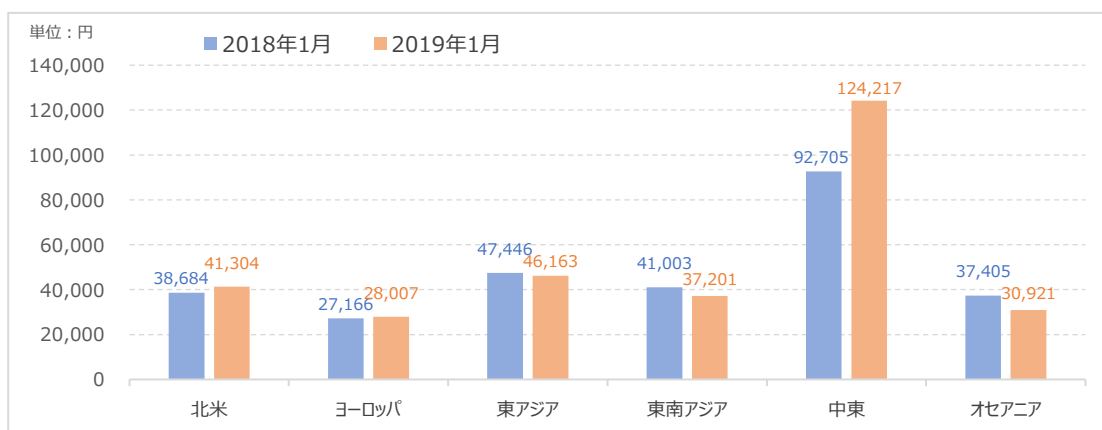
【参考 2】京都市内 4 百貨店における免税売上

免税売上および総売上

	2019年1月	2018年1月	伸率・前年同月差
免税件数	27,039 件	25,302 件	6.9%
免税単価	45,231 円	46,289 円	▲2.3%
免税売上額	12 億 2,300 万円	11 億 7,120 万円	4.4%
総売上額*	188 億 9,461 万円	196 億 9,114 万円	▲4.0%
免税売上割合	6.5%	5.9%	0.6 ポイント増

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上等も含まれる（税別）。

免税単価（1 件あたりの免税売上額／免税売上額÷免税件数）



免税売上額に占める国・地域別割合（構成比）

2019年1月				2018年1月		
	国・地域名	構成比	前年同月差		国・地域名	構成比
1	中国	77.9%	4.9 ポイント	1	中国	73.0%
2	台湾	5.8%	▲1.2 ポイント	2	台湾	7.0%
3	香港	3.7%	▲1.8 ポイント	3	香港	5.5%
4	韓国	2.7%	0.1 ポイント	4	韓国	2.6%
5	在外日本人	2.0%	0.4 ポイント	5	オーストラリア	2.0%

※京都市内 4 百貨店：京都高島屋、ジエアール京都伊勢丹、大丸京都店、藤井大丸（五十音順）

【参考3】 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル2階

相談者数	2019年1月	2018年1月	伸率
日本人	28,482	27,842	2.3%
外国人	19,469	20,159	▲3.4%
合計	47,951	48,001	▲0.1%
来所者数*	103,946	109,658	▲5.2%

* 自動カウント機による

外国人相談者における国・地域別割合

	2019年1月			2018年1月	
	国・地域名	構成比	前年同月差	国・地域名	構成比
1	中国	21.5%	4.6ポイント	中国	16.9%
2	韓国	20.1%	6.9ポイント	韓国	13.2%
3	台湾	10.9%	▲1.4ポイント	台湾	12.3%
4	オーストラリア	8.1%	▲2.8ポイント	オーストラリア	10.9%
5	アメリカ	6.7%	▲0.7ポイント	アメリカ	7.4%

【参考4】 京都旅行に影響すると考えられる主な国際航空路線の増減（2019年）

期間	路線	航空会社	分類	1週間あたり数
1月1日	関西＝杭州	厦門航空	増便	5便→7便
1月7日	関西＝釜山	イースター	再開	7便
1月8日	関西＝マニラ	ジェットスター	運休	3便→運休
1月8日	中部＝台北	ジェットスター	運休	3便→運休
1月9日	関西＝台北	ジェットスター	運休	4便→運休
1月9日	中部＝マニラ	ジェットスター	運休	4便→運休
1月11日	成田＝ハノイ	ベトジェットエア	新設	7便
1月14日	成田＝デンパサール	インドネシアエアアジア X	運休	7便→運休
1月14日	羽田＝釜山	チェジュ航空	運休	2便→運休
1月14日	羽田＝ソウル 仁川	チェジュ航空	運休	2便→運休
1月30日	関西＝台北	エアアジア X	新設	4便
1月31日	中部＝台北	ジェットスター	再開・増便	運休前 3便→7便
1月31日	関西＝台北	ジェットスター	再開・増便	運休前 4便→7便
3月31日	関西＝香港	ピーチアビエーション	減便	6便→5便
3月31日	成田＝シアトル	日本航空	新設	7便
3月31日	成田＝モスクワ	日本航空	増便	4便→7便
4月1日	関西＝ロンドン	ブリティッシュ・エアウエイズ	新設	4便

4月1日	関西＝フランクフルト	ルフトハンザ	廃止	7便→廃止
4月25日	関西＝台北	ピーチアビエーション	増便	14便→21便
6月29日	関西＝台北	ピーチアビエーション	増便	21便→28便

出所) 航空会社プレスリリースおよび関西エアポート新規就航情報をもとに作成

(注) 網掛け部分は、前月のレポートから更新した情報

【参考5】為替レートの推移

月平均 Telegraphic Transfer Buying (「外貨」を「円」に交換するときのレート)

(数値が小さくなるほど、円高となり、外国人観光客にとっては不利)

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン	
2016	1月	117.3	127.0	166.5	81.1	14.8	0.280	17.6	3.2	9.7
	2月	114.1	126.1	160.7	80.1	14.4	0.287	17.3	3.2	9.3
	3月	112.0	124.1	156.7	82.5	14.1	0.287	17.1	3.1	9.3
	4月	108.8	123.0	152.9	82.2	13.7	0.293	16.6	3.1	9.4
	5月	108.1	121.6	154.5	77.6	13.6	0.297	16.4	3.0	9.1
	6月	104.5	117.0	145.9	75.9	13.2	0.304	15.7	2.9	8.8
	7月	103.0	113.5	132.8	76.2	13.0	0.306	15.3	2.9	8.9
	8月	100.3	112.1	128.9	75.2	12.6	0.309	14.9	2.8	8.9
	9月	101.0	112.8	130.3	75.4	12.7	0.306	15.0	2.9	9.0
	10月	102.8	112.9	124.2	77.1	13.0	0.302	15.1	2.9	9.0
	11月	107.1	115.2	130.4	79.4	13.5	0.291	15.5	3.0	9.1
	12月	115.0	120.8	140.8	83.2	14.5	0.273	16.5	3.2	9.6
2017	1月	113.8	120.6	137.6	83.8	14.4	0.273	16.5	3.2	9.6
	2月	112.1	118.9	137.3	84.6	14.2	0.271	16.2	3.2	9.7
	3月	112.0	119.2	135.5	84.1	14.1	0.269	16.1	3.2	9.8
	4月	109.1	116.5	135.0	81.1	13.7	0.274	15.7	3.1	9.5
	5月	111.3	122.6	141.0	81.4	14.0	0.266	16.0	3.2	9.8
	6月	109.9	123.0	138.0	81.7	13.8	0.271	16.0	3.2	9.6
	7月	111.4	127.9	142.0	85.5	14.0	0.268	16.3	3.3	9.7
	8月	108.9	128.4	138.6	85.1	13.6	0.273	16.2	3.2	9.5
	9月	109.7	130.4	143.1	86.2	13.7	0.270	16.6	3.3	9.6
	10月	112.0	131.4	145.2	86.1	14.0	0.263	16.8	3.3	9.8
	11月	112.0	131.0	145.3	84.1	14.0	0.264	16.8	3.4	10.1
	12月	112.0	132.2	147.5	84.4	14.0	0.263	16.8	3.4	10.2
2018	1月	109.9	133.8	149.4	86.3	13.8	0.263	17.0	3.4	10.2
	2月	107.0	132.0	147.1	83.1	13.4	0.268	16.8	3.4	9.8
	3月	105.1	129.4	144.2	80.4	13.1	0.273	16.5	3.3	9.7
	4月	106.4	130.6	147.5	80.7	13.3	0.271	16.8	3.4	9.9
	5月	108.7	128.2	143.9	80.6	13.6	0.270	17.0	3.4	10.0
	6月	109.0	126.9	142.2	80.5	13.6	0.271	16.7	3.3	9.9
	7月	110.4	128.7	142.7	80.5	13.8	0.272	16.3	3.3	9.7
	8月	110.1	126.8	139.1	79.5	13.7	0.274	15.9	3.3	9.7
	9月	110.9	128.9	142.1	78.5	13.9	0.273	16.0	3.4	9.8
	10月	111.8	128.1	142.8	78.2	14.0	0.271	16.0	3.4	9.8
	11月	112.4	127.3	142.3	80.1	14.1	0.270	16.1	3.4	9.9
	12月	111.5	126.4	138.5	78.9	14.0	0.272	16.0	3.4	9.8
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.4	9.5

※韓国ウォンは100ウォンあたりのレート 出所) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 外国為替相場

京都54ホテル宿泊状況調査結果詳細（2019年1月）

(公社)京都市観光協会
 (公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2019年 1月																	
		実人数						延べ人数						延べ部屋数					
		2019	2018	伸率 (客室調整あり)	伸率 (客室調整なし)	2019 構成比	2018 構成比	2019	2018	伸率 (客室調整あり)	伸率 (客室調整なし)	2019 構成比	2018 構成比	2019	2018	伸率 (客室調整あり)	伸率 (客室調整なし)	2019 構成比	2018 構成比
北米	アメリカ	7,601	5,868	15.8%	29.5%	8.5%	8.3%	18,308	13,803	18.6%	32.6%	9.4%	9.1%	9,101	6,922	17.6%	31.5%	9.4%	9.2%
	カナダ	888	687	15.6%	29.3%	1.0%	1.0%	2,205	1,635	20.6%	34.9%	1.1%	1.1%	1,097	819	19.8%	33.9%	1.1%	1.1%
	北米小計	8,492	6,557	15.8%	29.5%	9.5%	9.2%	20,513	15,438	18.8%	32.9%	10.5%	10.2%	10,149	7,741	17.3%	31.1%	10.5%	10.3%
中南米	メキシコ	256	330	-30.4%	-22.2%	0.3%	0.5%	705	887	-28.9%	-20.4%	0.4%	0.6%	309	365	-24.3%	-15.3%	0.3%	0.5%
	ブラジル	399	598	-40.3%	-33.2%	0.4%	0.8%	1,226	1,810	-39.4%	-32.2%	0.6%	1.2%	480	723	-40.6%	-33.6%	0.5%	1.0%
	その他	469	471	-11.1%	-0.6%	0.5%	0.7%	1,300	1,292	-10.0%	0.6%	0.7%	0.9%	650	656	-11.4%	-0.9%	0.7%	0.9%
	南米小計	1,126	1,408	-28.5%	-20.0%	1.3%	2.0%	3,232	3,989	-27.5%	-19.0%	1.7%	2.6%	1,425	1,744	-26.9%	-18.3%	1.5%	2.3%
ヨーロッパ	イギリス	1,138	865	17.6%	31.5%	1.3%	1.2%	3,231	2,251	28.3%	43.5%	1.7%	1.5%	1,785	1,282	24.5%	39.2%	1.9%	1.7%
	フランス	688	641	-4.0%	7.4%	0.8%	0.9%	1,883	1,700	-0.9%	10.8%	1.0%	1.1%	1,044	937	-0.4%	11.4%	1.1%	1.2%
	ドイツ	539	414	16.4%	30.1%	0.6%	0.6%	1,290	1,019	13.2%	26.5%	0.7%	0.7%	775	651	6.5%	19.0%	0.8%	0.9%
	イタリア	762	774	-11.9%	-1.5%	0.9%	1.1%	2,483	2,513	-11.6%	-1.2%	1.3%	1.7%	1,489	1,333	-0.1%	11.7%	1.5%	1.8%
	オランダ	153	129	6.2%	18.8%	0.2%	0.2%	400	325	10.1%	23.1%	0.2%	0.2%	223	196	1.8%	13.8%	0.2%	0.3%
	スペイン	853	723	5.4%	17.9%	1.0%	1.0%	1,713	1,416	8.2%	21.0%	0.9%	0.9%	893	742	7.6%	20.4%	0.9%	1.0%
	スイス	144	174	-25.9%	-17.1%	0.2%	0.2%	410	483	-24.2%	-15.2%	0.2%	0.3%	245	282	-22.3%	-13.1%	0.3%	0.4%
	スウェーデン	106	94	0.8%	12.7%	0.1%	0.1%	297	244	9.0%	21.8%	0.2%	0.2%	168	156	-3.7%	7.7%	0.2%	0.2%
	フィンランド	72	62	4.2%	16.5%	0.1%	0.1%	138	138	-10.5%	0.1%	0.1%	0.1%	88	97	-18.9%	-9.3%	0.1%	0.1%
	ロシア	282	344	-26.5%	-17.8%	0.3%	0.5%	861	900	-14.5%	-4.4%	0.4%	0.6%	482	472	-8.7%	2.1%	0.5%	0.6%
	その他	719	598	7.4%	20.1%	0.8%	0.8%	2,067	1,693	9.2%	22.1%	1.1%	1.1%	1,142	1,004	1.7%	13.7%	1.2%	1.3%
ヨーロッパ小計	5,497	4,861	1.1%	13.1%	6.2%	6.8%	14,773	12,683	4.2%	16.5%	7.6%	8.4%	8,334	7,152	4.2%	16.5%	8.7%	9.5%	
東アジア	中国	31,998	20,555	39.2%	55.7%	36.0%	28.9%	71,553	43,880	45.8%	63.1%	36.6%	28.9%	34,153	21,767	40.3%	56.9%	35.5%	28.9%
	台湾	15,080	13,424	0.5%	12.3%	17.0%	18.9%	25,483	22,355	1.9%	14.0%	13.0%	14.7%	12,316	10,897	1.1%	13.0%	12.8%	14.5%
	香港	3,505	3,650	-14.1%	-4.0%	3.9%	5.1%	7,692	7,876	-12.7%	-2.3%	3.9%	5.2%	3,842	3,896	-11.8%	-1.4%	4.0%	5.2%
	韓国	7,972	7,236	-1.5%	10.2%	9.0%	10.2%	14,811	13,268	-0.2%	11.6%	7.6%	8.7%	7,262	6,423	1.1%	13.1%	7.5%	8.5%
	東アジア小計	58,811	44,604	17.9%	31.9%	66.1%	62.8%	119,539	87,379	22.3%	36.8%	61.2%	57.6%	57,430	42,983	19.5%	33.6%	59.6%	57.1%
東南アジア	フィリピン	290	327	-20.5%	-11.1%	0.3%	0.5%	781	804	-13.2%	-2.9%	0.4%	0.5%	404	389	-7.1%	3.9%	0.4%	0.5%
	ベトナム	177	58	174.5%	206.9%	0.2%	0.1%	274	123	99.3%	122.8%	0.1%	0.1%	171	76	101.2%	125.0%	0.2%	0.1%
	タイ	1,403	1,325	-5.3%	5.9%	1.6%	1.9%	2,548	2,427	-6.1%	5.0%	1.3%	1.6%	1,254	1,154	-2.8%	8.7%	1.3%	1.5%
	インドネシア	1,554	1,422	-2.3%	9.3%	1.7%	2.0%	2,951	2,876	-8.3%	2.6%	1.5%	1.9%	1,454	1,355	-4.0%	7.3%	1.5%	1.8%
	マレーシア	656	678	-13.4%	-3.2%	0.7%	1.0%	1,698	1,659	-8.5%	2.3%	0.9%	1.1%	823	821	-10.3%	0.2%	0.9%	1.1%
	シンガポール	1,347	1,358	-11.3%	-0.8%	1.5%	1.9%	3,775	3,415	-1.1%	10.5%	1.9%	2.3%	1,963	1,763	-0.4%	11.3%	2.0%	2.3%
	インド	215	295	-34.7%	-27.0%	0.2%	0.4%	487	647	-32.7%	-24.7%	0.2%	0.4%	282	370	-31.8%	-23.8%	0.3%	0.5%
	その他	567	429	18.2%	32.2%	0.6%	0.6%	1,386	966	28.3%	43.5%	0.7%	0.6%	749	534	25.4%	40.3%	0.8%	0.7%
東南アジア小計	6,205	5,924	-6.3%	4.7%	7.0%	8.3%	13,900	12,918	-3.8%	7.6%	7.1%	8.5%	7,100	6,462	-1.7%	9.9%	7.4%	8.6%	
中東	イスラエル	55	41	20.7%	35.0%	0.1%	0.1%	125	536	-79.1%	-76.6%	0.1%	0.4%	89	246	-67.6%	-63.8%	0.1%	0.3%
	カタール	92	32	157.1%	187.5%	0.1%	0.0%	197	96	83.5%	105.2%	0.1%	0.1%	70	46	36.1%	52.2%	0.1%	0.1%
	UAE	73	57	13.4%	26.9%	0.1%	0.1%	171	141	8.3%	21.1%	0.1%	0.1%	56	47	6.6%	19.1%	0.1%	0.1%
	サウジアラビア	5	29	-85.5%	-83.8%	0.0%	0.0%	9	61	-86.2%	-84.6%	0.0%	0.0%	6	19	-71.8%	-68.4%	0.0%	0.0%
	トルコ	29	33	-19.7%	-10.3%	0.0%	0.0%	77	63	9.5%	22.4%	0.0%	0.0%	50	27	65.6%	85.2%	0.1%	0.0%
	その他	135	101	19.0%	33.1%	0.2%	0.1%	347	289	7.4%	20.1%	0.2%	0.2%	213	157	21.3%	35.7%	0.2%	0.2%
	中東小計	392	291	20.5%	34.8%	0.4%	0.4%	925	1,186	-30.3%	-22.0%	0.5%	0.8%	483	542	-20.3%	-10.9%	0.5%	0.7%
オセアニア	オーストラリア	6,417	5,597	2.5%	14.6%	7.2%	7.9%	18,720	15,692	6.7%	19.3%	9.6%	10.3%	9,000	7,298	10.3%	23.3%	9.3%	9.7%
	ニュージーランド	458	343	19.4%	33.5%	0.5%	0.5%	1,165	829	25.7%	40.6%	0.6%	0.5%	546	375	30.2%	45.6%	0.6%	0.5%
	その他	10	13	-30.7%	-22.5%	0.0%	0.0%	31	38	-27.0%	-18.4%	0.0%	0.0%	21	21	-10.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	オセアニア小計	6,897	5,962	3.5%	15.7%	7.8%	8.4%	19,916	16,559	7.6%	20.3%	10.2%	10.9%	9,567	7,694	11.2%	24.3%	9.9%	10.2%
アフリカ	75	66	1.9%	13.9%	0.1%	0.1%	261	185	26.1%	41.0%	0.1%	0.1%	155	120	15.5%	29.2%	0.2%	0.2%	
海外その他	932	696	19.8%	34.0%	1.0%	1.0%	2,255	1,348	49.7%	67.3%	1.2%	0.9%	1,673	790	89.4%	111.8%	1.7%	1.1%	
海外合計	88,944	71,059	11.9%	25.2%			195,313	151,684	15.2%	28.8%			96,316	75,228	14.5%	28.0%			
国内合計	158,295	163,825	-13.6%	-3.4%			237,008	242,945	-12.8%	-2.4%			144,657	151,075	-14.4%	-4.2%			
合計	247,239	234,885	-5.9%	5.3%			432,321	394,629	-2.0%	9.6%			240,973	226,303	-4.8%	6.5%			

	2019	2018	伸率・前年同月差
販売可能客室数	349,349室	312,436室	11.8%
稼働客室数	240,973室	226,303室	6.5%
稼働率	69.0%	72.4%	3.4ポイント減
外国人利用割合	40.0%	33.2%	6.8ポイント増

(注) 実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。※伸率については、販売可能客室数の差異を調整している数値と調整していない数値を併記している。

(1) 調査時期: 2019年1月1日～2019年1月31日

(2) 対象施設数: 54ホテル 11,637室